

## 2021.9.7 WEEKLY WRAP SCRIPT (日本語)

MARIANNE: 皆さん、こんにちは。さっそく株式市場を振り返ってみましょう。

それではABキャピタル証券株式会社のランスさんに今週の株式市場の報告をしていただきます。

MR: LANCE: 皆さん、おはようございます。今週のマーケットラップによろしく。先週の米国市場は、景気回復のスピードが期待ほどではなかったことから、FRBが金融刺激策の縮小に慎重な姿勢を維持すると述べたというニュースに投資家が反応し、主要指数は主に横ばいで推移しました。民間雇用者数は、予想の60万人に対して、先月は37万4千人の増加となりました。一方、フィリピンの経済活動については、政府は9月7日から9月30日まで首都をGCQに指定することを決定しました。また、政府は国民の90%を対象に集団免疫力を高めることを計画していますが、これは他の国が行っていることと同様で、デルタ型の感染が拡大していることから、保健省は9月中旬に感染者数がピークに達すると予想しています。現在、国内のデータ件数は過去最高を記録し続けています。昨日の報告では、デルタ型の症例数は約22,000件で、陽性率は約29%と高く、平均値でも増加しています。7月の1日あたりの平均件数は約9,000件でしたが、8月には約13,000件に増加し、9月の1日あたりの平均件数は現在のところ約18,000件となっています。次に、8月のPMI18,000製造業は46.4でした。これは、8月にフィリピンがECUを下回ったことやNCRがECUを下回ったことから、驚くべきことではありません。そして最後に、7月の銀行貸出額は8ヶ月連続で縮小しています。企業のニュースとしては、KKRが株式公開買い付けを行い、FGNを取得しました。次期ドゥテルテ大統領は、ギャラクシーとアンドリュー・ヤンによるボラカイ島でのカジノ事業を承認。そして最後に、フィリピン航空が数ヶ月後にチャプター11から脱退し、さらに25日までにパンデミック前の水準に戻ると予想しています。週間ベースでは、指数は110ポイント上昇しています。これで3週連続の上昇です。また、先週の外国為替取引は13億ペソとなり、5週連続で外国人による買い越しとなりました。今後の見通しとしては、現在の株価指数は6800~7000の間で推移すると予想しています。また、指数は現在の上昇トレンドを継続または維持すると予想しています。前述したように、現在、1日あたりの平均値は過去最高を記録しており、データの平均値も過去最高、ポジティブ率も過去最高となっています。COVIDの状況が悪いにもかかわらず、ご覧のように指数のシュラッグが止まり、上昇を続けていますが、これは主にリカバリー・ベットによるものです。今のところ、このようなレベルはディップ時に多く蓄積されることがよく知られていると思います。それでは、今週のデータは以上です。ありがとうございました。

MR. IEMURA: 私はクラビス・アンド・ロボーツが外されたことにとっても注目しています。彼らは本当に大きなバイアウト・ファンドです。では、FGENのKKRがすでに少しずつ買収され始めているという話はどうでしょうか。

MR. LEXTER: はい、彼らはすでにFGENに出資しています。そこで、ロペスとの関係が良好なFGENの株式をさらに取得しようと考えました。そう、これは、KKRが彼らと長期的に付き合っていくことを保証してくれているのです。

MR. IEMURA: ああ、KKRはFGENの非上場化に注目しているのですね。

MR. LEXTER: 過半数の、大きな、大きな株主です。

MR. IEMURA: FGENはバッテリーの流動性の問題を抱えています。公開を続けますか？

MR. LEXTER: ああ、そうですね、浮動株は17%まで下がります。しかし、上場廃止になった過去があるので、最終的には20%に引き上げるというPSEの新しいルールに従うかどうかはまだ公表していませんが、思い出してみるとEDCは上場廃止になっています。まだ確定ではありませんが、FGENが上場していれば、30社のインデックスの中に入っているということになりますね。

MR. IEMURA: もちろんですが、FGENが上場廃止になる可能性はまだあるのでしょうか？

MR. LEXTER: うーん、はっきりしませんが、上場は維持されるでしょう。

MR. IEMURA: KKRはFGENを上場させるつもりはありませんか？

MR. LEXTER: そうですね、KKRは少数派で、取締役会の席を持っているだけですから、エフゲンの大株主は依然としてロペス夫妻です。

MR. IEMURA: KKRの出資比率は20%くらいかな。そうすると、彼らは取締役会に参加することになります。

MR. IEMURA: なるほど。そうですね。しかし、通常のKKRの戦略では、株式を購入してターゲット企業に上場させることになっています。そして、3~5年かけて企業価値を高め、再び上場する。そして、大きなキャピタルゲインを得るのです。ですから、これはスタンダードな戦略だと思います。だからこそ、FGENはKKRを買収して上場廃止になると思います。しかし、今のところ、彼らは発表していません。

MR. LEXTER: それは非常に興味深い話ですね。

MR. IEMURA: これでFGENの株主は全て売れるようになりましたね。

MR. IEMURA: 最後に、もしFGENが上場廃止になっても、個人株主が残っていれば、その場合はFGENが個人投資家から株式を買い戻すことになります。

MR. LEXTER: はい、しかし、期限に注意しなければなりません。なぜなら、すでに上場していなければ、市場で売ることができないからです。だから、会社に直接行くしかないんです。それは大変なことですよ。

MR. IEMURA: 実は、多くのお客様がこのような状況を懸念、心配しています。

MR. LEXTER: はい。しかし、今のところ、心配はありません。公開買付け後の最低公開流量は、これまでどおり遵守されます。

MR. IEMURA: ありがとうございます。そしてPALニュース。ファイルはチャプター11。PALの筆頭株主はルシオ・タンです。LTGです。

MR. LEXTER: 実は、上場企業の下にはありません。LTGではありません。別物です。オーナーは同じです。別の会社です。

MR. IEMURA: 別の会社？

MR. LEXTER: はい。そうではありません。これは、別の会社で、トラストマーク・ホールディング社です。民間の会社ですが、オーナーは基本的に同じです。

MR. IEMURA: このイベントによるLTGへの影響は？ PALファイル 第11章

MR. LEXTER: PNBが10%所有しているので、おそらく軽微な影響はPNB側にあると思います。

MR. IEMURA: なるほど、なるほど。そして、日本の航空会社であるANAは9.5%を持っています。でも、ANAの動きをチェックしたら、彼らの株は上がっていました。そうですね。

MR. LEXTER: おそらく、リストラを検討しているからではないでしょうか。破産申請をした後には手続きが必要で、最終的には誰かがリストラをすることになりますから、最終的には資金を調達して会社を再出発させることになるでしょう。

MR. IEMURA: 今回のリストラでは、PALが先に上場廃止になりますが、これは株式の過半数を持っているスポンサー企業が先に上場廃止になります。誰がPALのスポンサーになるのかはわかりませんが、まず上場廃止になり、その後、リストラが行われ、再び上場することになります。

MR. LEXTER: 上場廃止というわけではなく、一時停止ということです。つまり、今は株の取引ができず、買うことも売ることもできないのです。

MR. IEMURA: でも、フィリピンではまだPALが上場していて、PALは上場を続けています。今のところ、そう思いますか？

MR. LEXTER: はい。今のところはね。

MR. IEMURA: 彼らの潜在的なスポンサーや権力者は誰ですか？名前が挙がっているのでしょうか？

MR. LEXTER: 今のところ、市場に名前が出ているわけではありません。最も近い可能性を秘めているのは、政府から買収することだと思います。政府は当初、政府の支援はないと言っていました。なぜなら、政府には購入する資金がないからです。そして、政府は必須産業にもっと力を入れています。ですから、航空会社はおそらく最後でしょう。

MR. IEMURA: しかし、PALには再建のために誰か大きなスポンサーが必要です。バイアウト・ファンドや国際的な航空会社などが考えられますが、ANAはその候補のひとつだと思います。

MR. LEXTER: DNAが助けに来てくれるといいですね。

MR. IEMURA: しかし、今は非常に深刻な状況です。

MR.LEXTER: DNAが救済されるといいですね。

MR.IEMURA うーん、そうですね。そうですね。そうですね。ともかく、ありがとうございました。あなたのコメントに感謝します。私の質問は以上です。

MARIANNE: レクスターさん、家村さん、松下さん、本日はありがとうございました。以上、ABキャピタル証券による週刊株式市場のまとめでした。ありがとうございました。また来週お会いしましょう。